

虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区
「都市景観大賞(都市空間部門)」大賞を受賞
～複数の建物と根幹的インフラ整備を一体的に進めた稀な事例～

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長:辻慎吾)等が管理・運営する「虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区」が、この度、令和 7 年度「都市景観大賞(都市空間部門)」の大賞(国土交通大臣賞)を受賞しました。

都市景観大賞とは

都市景観大賞(主催:「都市景観の日」実行委員会、後援:国土交通省)とは、良好な都市景観を創出する優れた地区や、景観に関する意識啓発・普及に貢献する活動を表彰し、より良い都市景観の形成を目指すものです。公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象とした「都市空間部門」と、地域に関わる人々が都市景観に関心を持ち、自らの課題として捉え、その解決に向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組等による活動を対象にした「景観まちづくり活動・教育部門」の 2 つの部門で表彰しています。

複合的かつ地域とのなじみにも配慮されている点を評価

この度の「虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区」の「都市空間部門」大賞受賞においては、根幹的なインフラ整備と一体的に開発された点や、複合的かつ地域とのなじみにも良く配慮されている点が高く評価され、当社に加えて、東京都、港区芝地区総合支所、独立行政法人都市再生機構、国土交通省東京国道事務所、東京地下鉄株式会社、一般社団法人新虎通りエリアマネジメント、新虎通りエリアプラットフォーム協議会、株式会社日本設計、株式会社入江三宅設計事務所、株式会社竹中工務店、株式会社久米設計が共同で受賞しました。



当社は、引き続き、虎ノ門ヒルズにおける「国際新都心・グローバルビジネスセンター」の形成を通じて、国際都市・東京のさらなる磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 立島

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

審査コメント:複合的かつ地域とのなじみにも良く配慮されている地区として評価

応募地区は東京環状 2 号の虎ノ門から新橋の区間、また日比谷線新駅といった大物のインフラ整備を含む複数の大規模街区開発である。東京都市再生の掛け声の元、都心で活発化している高さ 100 m を超える大規模再開発は数多いが、当地区のように 10 余年をかけ複数の建物と根幹的インフラ整備を一体として進められた例は少ない。この点において都市景観大賞「都市空間部門」が求める地区の要件によく適合している。

景観面から開発内容を見ると、時期ごとに形態は異なるものの、関係性を意識していると認められる高層部、地平部やデッキレベルの動線や緑化なども地区としての一体感がある。地下鉄駅を取り囲み、地下鉄の車両が見える伸びやかな歩行者空間はよくできており、これにつながる歩行者橋の路面、また桁裏も良い意味で目立っている。日比谷通り沿いに新設された公園は大規模開発の威圧感を和らげている。新虎通りも整備当初の荒削りな空間が日を経るごとに魅力的になってきており、今後に期待が持てる。デッキレベルの公開された緑地はよく使われている。

このように複合的かつ地域とのなじみにも良く配慮されている当地区は景観面からも高いレベルの都心の複合開発と言え、大賞に相応しいとしたものである。

(審査委員: 高見 公雄 法政大学教授 田中 一雄 株式会社 GK デザイン機構代表取締役)



2007年



2023年

街区全体の開発前後の全景写真。
垂直、水平の線が織りなす建物群として4本のタワー各々が調和するデザイン



地下2階から地上1階までの3層吹抜けで、自然光が地下へそそぐ、高さ20m、広さ2,000㎡の開放的な駅広場空間。
駅のホーム、道路と建物から相互に視線が交錯し、地下鉄の存在をあらゆる場所から視認できる



桜田通りに架かる幅20mの緑溢れる歩行者デッキ。
デッキ上は広場として人々の憩いの場になっている



緑豊かなオーバル広場で開催されたイベントの様子